

第3回群馬県世界遺産専門委員会 議事録（概要）

日 時：平成28年8月1日（月）13：30～

場 所：富岡合同庁舎 大会議室

1. 開会

2. 挨拶 向田企画部長

3. 委嘱状交付

4. 委員長選出

委員長・副委員長を以下のとおり選出した。

委員長 ^{かりや}荻谷 ^{ゆうが}勇雅 日本イコモス国内委員会副委員長

副委員長 ^{おかだ}岡田 ^{やすよし}保良 国士舘大学（イラク古代文化研究所）教授

5. 議事

(1) 報告事項

①富岡製糸場の保存修理に係るユネスコへの報告書提出について

- ・富岡製糸場で現在行われている西置繭所保存修理についてユネスコに報告するにあたり、その報告書の内容について事務局から説明を行った。

②「富岡製糸場と絹産業遺産群」の各構成資産の現状について

- ・田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴の現状について、各市町の担当者から報告が行われた。

(2) 協議事項

①平成27年度モニタリング調査について

- ・事務局から平成27年度のモニタリング調査結果について報告を行い、特段の問題がないことが確認され、次年度も同様に調査を継続することとした。

【委員からの主な発言】

- ・富岡製糸場について、敷地内を一回りすると歴史が巡れるように設定すると面白いのでは。来訪者数も落ち着いてきていることから、ここからきちんと既存の計画通りに整備を進めてもらいたい。入込客数の減少に慌てずにやってほしい。
- ・西置繭所の使われ方の変遷に関する資料をそろえ、研究を進めてほしい。
- ・耐震補強については、柔軟に災害をやりすぎし、多少被害があっても速やかに復旧する、また人命を守る補強をしてほしい。
- ・それぞれの資産について富岡製糸場との関連など、基礎的な研究を継続してほしい。

(以上)